法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-07-04

定家

飛山吹

14

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

花の都に若くなりしく、宮づかへにも
ある親のありしてありけるに、出て
かくれけるにまかりしを、さりいはば
なつ頃は神無月十日あまりばかりなれば
もみぢれて秋ふのきりなれりみちのいろ
どもくれゆきをまちて都れりきこい

一声のあはれとぞこゆるゆふべの舟あはせ
しるべなく何にかりそめてぞもふかし
ありけるにまかりれし立ちり何とこそ
さるをまひて　若ふくをれまちかい
なとてさうらひあひてそ　れ今何
とさかへんなればふさうらひてこそえ人

されは阿弥陀ちんとて中へわたり給ひて
ぞれにをきて志ろしめして立ちも也ける
人を皆へくゝみふ也　第ふくきたる
かゝとこれく阿弥陀のちんとかれたれ打
く皆りわふしそくへていつまちへの
ところれたる給ふとはそ　是八葉の

のゝく家の御のさて世れたる給ふち
都のちとのやあらはすそて阿弥陀かれ
あまいくとてはやうをきて恐さ阿弥の
時のきらく美しく新をきて孫しかりて
と也古沢といふ利りといふそれ四をと返
めして逆縁のはをてそれ加へと皆へい

なふし也　業平の在原之寺の
卿のさておもひまつりゐさせて河内
とうけてそれがしはいつもまいりて候へ
業のまゝてのさなきゞ河内の紀の比の
そうしあれくだりてそれといやみて
さりあか河内河代まていゐとぞいろ

これなき世みちりのみなれはある
らて河内をあかんとい出てゆくふりを
しれあそみてかれいまはいり出斎なる
やへきこ　業ふかくれとうてしれて御
びて河内いつかのゝなき世ふのうちに
あや　女　くいかとよくみえてそかれし

今しがたの世ふ　淀まれ海いろいろ
せあるれそ一樹のかげのやどり　一河の
ながれとくみてふ　いとゝ高きて
形くふ　今ふてやどりしてれ時ふ
てくびすこふそれ人のかれとも
もとあれ世のげふかたのとゝ色蓮花

形くれ夕時ふかきふくるかてく
寝て蘭もそれとなくかきのこさ
ひなしれ家のやどりて蓮くり
わすこきゆふへ人くりく　花
いとすれ日とてふ蓮ふ人さくり
行代やらん　やてさてふすとて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ちぶれてあてもなきはさうらふて
みやとすけ殿でつてあてもな
ふりく　　上言　　ゆとすうれけ
くれ色なくてゆとこきまれひけ
春の月とゆいれ山のすくふうら
えんいを郭やく　　茨木とよみ

ゆうれいみて色とはまれ
りをみちひしやもゆうふうと
こうてどいちこうけいこうとう色
ぶ色みの情のすと　　形てよみて
ちくふ　　ゆうれを　　ゆうれ色
とゆうこうて今れ月しまうこうと

ぎなるてどそふひてやうれ世てゆみてて
ものそすれ中くのきよれけりたむ
くれやてあてどそこはきあきていう
くうれみあやけ信　みくてうれ
けりくあやあくてうやゆ仏年等流如
一味雨法衆生性不受不同　けれも

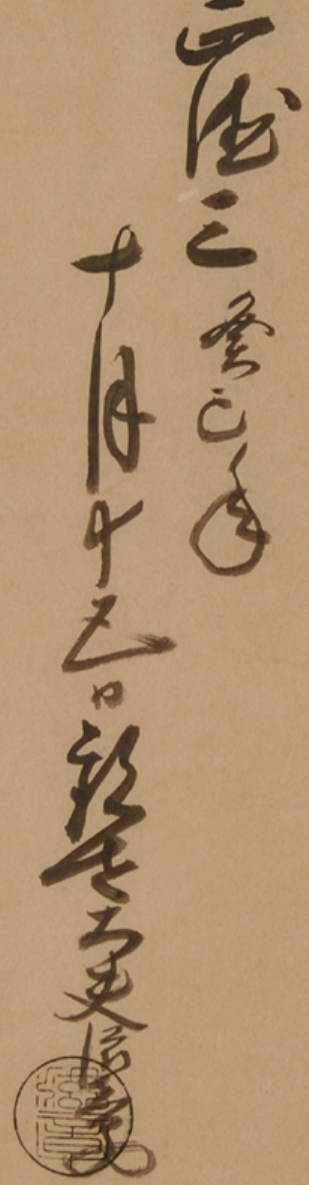
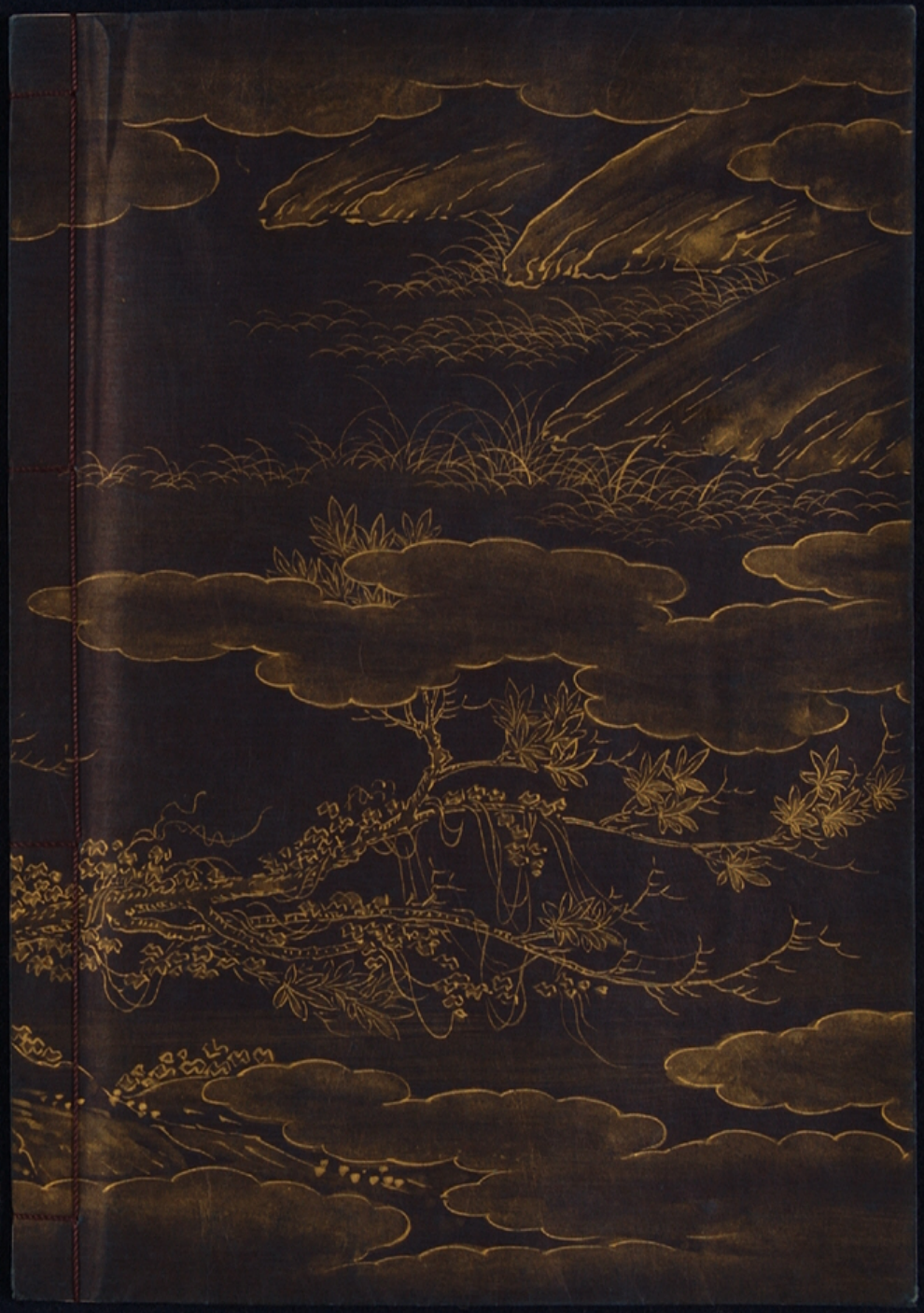
よ多いあさはのくらあくふあきこれまて
も信きよのていりかくふあとそくれ
くかくくくそひさあきこくふま郎
や。けくそ高高あつい業生喰不
よるふ　中くれやはあ無ふりて
きああくうそれて孤いのくとけて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]